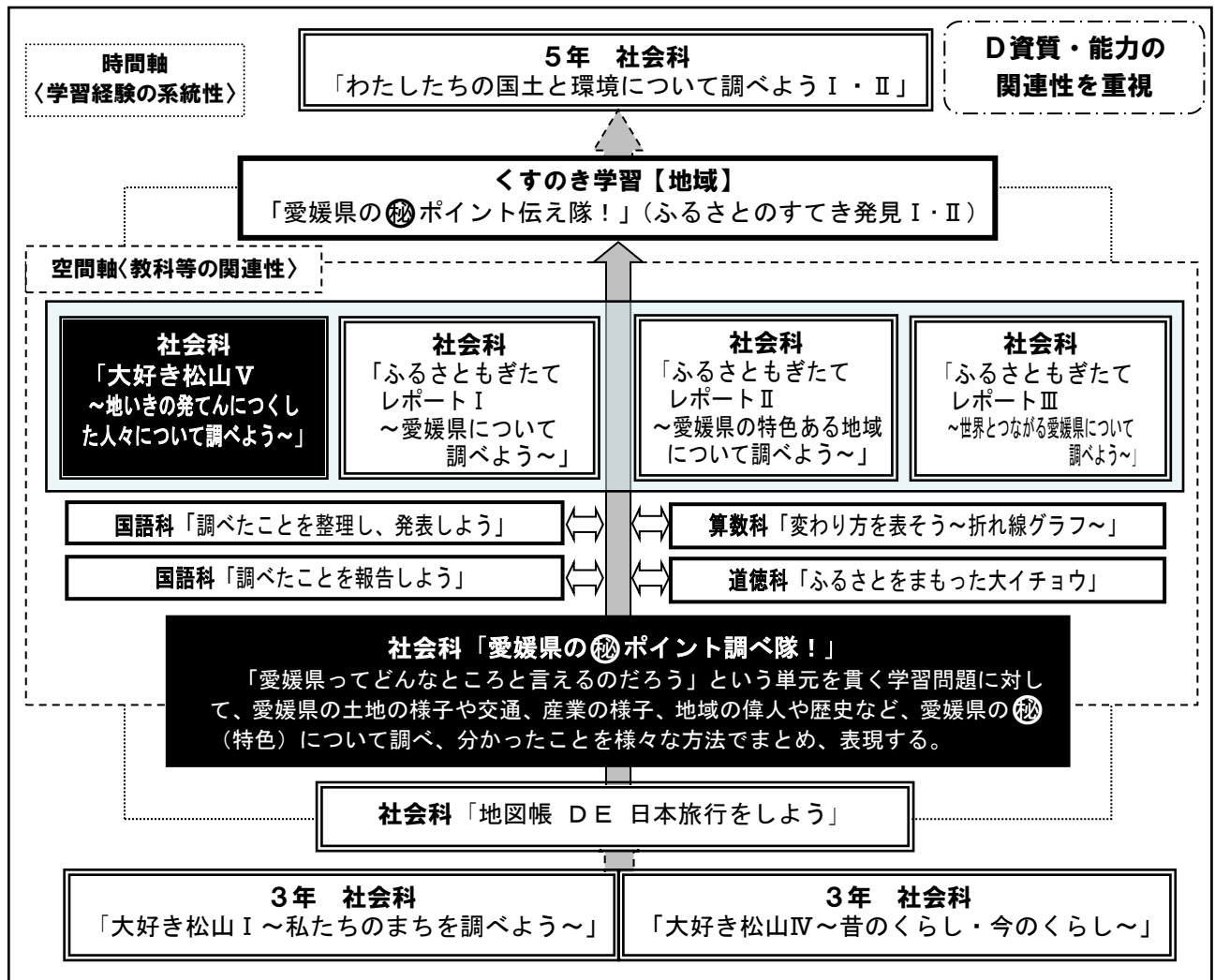


第4学年花組 社会科（＋くすのき学習【地域】）

「愛媛県の㊦ポイント調べ隊－愛媛県ってどんな所？－

～地いきの発てんにつくした人々について調べよう～」指導者 檜垣 延久

1 単元全体構想図



2 単元構想について

【A学習内容の系統性】も踏まえながら、【D資質・能力の関連性】を重視した単元を構想した。

まず、空間軸【教科等の関連性】の視点として、国語科や算数科、道徳科での学習が、社会科学習に生かされるようにする。これは、子どもが国語科や算数科で身に付けた資質・能力、「調べたことをまとめる力」「伝え合う力」「グラフや資料から数字を読み取る力」「郷土を思う心情」などが、社会科の調べ学習、まとめ作業、練り合い高め合いの場面等、生かされる場面を設定していく。そして、子どもにも、自らの学びが他教科に「つながっている」ことが意識できるように声掛け等も行っていく。

次に、時間軸【子どもの学習経験の系統性】の視点から、社会科で「選択・判断」の場面を経て、学んだこと、身に付けた資質・能力などを「生かして」、くすのき学習【地域】でその思いや願いの実現を図ることができるようにしたい。子どもの問題意識がつながるように小単元を再構成した大単元「愛媛県の㊦ポイント調べ隊」で、愛媛県の特徴を理解し、そのよさや価値について学んだ子どもたちは、それぞれ自分が伝えたいことを、思い思いの方法でまとめ、身近な人や愛媛県を訪れた観光客などに伝えようとするであろう。それまでの学びを「生かす」場として、くすのき学習【地域】（ふるさとのすてき発見Ⅰ・Ⅱ）とのツーステージ（プロジェクト）型の教科等横断を意識した単元を構想した。

☆ 小単元「大好き松山Ⅴ～地いきの発てんにつくした人々について調べよう～」の構想について

子どもたちは、自身の回りにある様々な社会的事象に対して興味・関心をもっており、意欲的に調べようとしている。前単元「大好き松山Ⅳ～暮らし調査隊～」の学習では、自分たちで学習問題を設定し、

主体的に追究し、それぞれの事業の様子について理解するとともに、自分の生活とのかかわりについても気付くことができた。そして、ごみの有効活用や節水の大切さを知り、進んで協力していこうとする意識も高まっていった。

歴史的な事象については、第3学年において昔のくらしを学習した際、道具の体験活動などを通して昔のくらしを子どもたちなりに実感し、先人の知恵や努力に気付くことができた。ただ、今回学習する県内地域の発展に尽くした先人についての認知度は低く、名前や大まかな業績は知ってはいるが、その生き方や自分の生活とのかかわりについては、十分に認識していないのが現状である。

本小単元では、道後温泉本館を始め、道後一帯及び松山市の発展に大きく貢献した伊佐庭如矢を取り上げ、学習する。伊佐庭如矢が町の発展のために開発や保護に力を注いだ道後温泉や道後公園、松山城は、愛媛県、松山市を代表する文化遺産でありながら、子どもたちにも馴染みが深く、自分の生活経験を基にしながらかつての学習対象であると考えられる。また、様々な人にインタビューしたり、博物館などを見学したりすることで、子どもの主体的な追究活動につなげることもできる。加えて、グループの友達と協力して追究したり、話し合ったりするなどかかわり合う場も多く設定できる。

このような先人と今の自分たちのつながりについて考え、表現することを通して、地域の一員としての自覚を持ちながら生きていこうとする態度をも育てていくことができるであろう。そして、このような伊佐庭如矢の思いを受け継ぐ人々とのかかわりを通して、その思いや願いを今度は自分たちが受け継ぐ番であることに気づき、自分なりにかかわっていこうとする姿を生み出すことができると考えている。

3 小単元のねらい

- 道後温泉本館の建て替えや公園・鉄道の開設等に尽力した伊佐庭如矢の働きについて、見学・調査したり、資料で調べたりして必要な情報を集め、分かったことを年表や文章などにまとめることを通して、当時及び現在の地域や観光産業の発展が、如矢たち先人の苦心や努力、思いや願いの上になり立っていることを理解する。
- 伊佐庭如矢の働きと地域の発展とを関連付けて考え、自分なりの方法で表現したり、先人の思いがこれまで受け継がれ、これからも受け継がれていくことに気づき、地域社会のよりよい発展と自分のかかわりについて考え、表現したりする。
- 伊佐庭如矢の働きについて、学習問題や予想、学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする。

4 小単元の展開 (全12時間)

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時間
「選択・判断」に向かう場面	出合い 伊佐庭如矢はどのような人で、何のために道後温泉本館を建て替えたのだろう。 ○ 伊佐庭如矢や道後温泉本館に関する資料を基に話し合い、個や学級の学習問題を作り、予想を立てる。	● 伊佐庭如矢や道後温泉本館の歴史に関する資料から、学習問題や予想、学習計画を立てている。	10 本時 その9
	追究 学習計画を立て、それを基に学級・自分の課題について調べてまとめよう。 ○ 伊佐庭如矢の業績や生き方、道後温泉本館について、調べてみたいことを考え追究する。 ○ 追究したことをまとめ、伝え合う。	● 自分の課題について、意欲的に調査活動を行ったり、各種資料を収集・選択・活用したりして追究し、考え、まとめている。	
	振り返り 学習問題の答えを話し合ってまとめよう。 ○ 伊佐庭如矢の故郷の発展に対する思いと自分たちの生活とのかかわりについて考える。	● 学習問題の答えを主体的に考えることができている。 ● 伊佐庭如矢の業績や生き方、自分の生活とのかかわりについて考え、表現し、その功績を理解している。	
「選択・判断」	振り返り これからの道後温泉や松山城はどうなっていくのだろう。 ○ 伊佐庭如矢の思いを受け継ぐ人々とふれ合い、その活動の大切さや自分とのかかわりについて考える。	● 伊佐庭如矢の思いを受け継いでいる人々の存在に気づき、先人の功績や道後温泉本館などの文化財等を大切にしていこうという思いを持っている。	2

5 小単元の指導の工夫

場面	三つの場面ごとの子どもと「つなぐ」指導の工夫（学習材・他者・自分自身）
出会い	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことや生活経験とのずれから新たな問いを見いだすことができたり、おもしろさや感動を持つことができたりするように、社会的事象との出会いの場面に、道後温泉本館建て替えの変遷が分かる写真や建設費の資料等を提示する。（学） 個々の問題意識を集約し、「伊佐庭如矢はどのような人物で何のために道後温泉を建て替えたのだろう」という学級全体の学習問題を、子どもの言葉を生かしながら設定する。学習計画も、子どもの意識を基に学級全体で設定する。（学・自）
追究	<ul style="list-style-type: none"> 充実した追究活動が行えるように、施設や博物館等の見学を取り入れたり、ゲストティーチャーなど関係する人々とかかわり合える機会を設けたりする。（学・他） グループでの活動を取り入れたり、対話を中心にした学習形態を取り入れたりすることで、より良い方向に高め合うことができたとする経験を重ねられるようにする。（他） 先人の苦心や努力について理解を一層深めたり、人や社会に主体的にかかわろうとする意欲が持てるようにしたりするために、「選択・判断」する場面につながる、練り合い・高め合いの時間を充実させる。（他・自） 学習成果をまとめた作品やノートへの記述などを紹介し合う活動を取り入れることで、友達のよさを感じ、そのよさを自分の考えに生かしていこうとする気持ちが持てるようにする。（他・自）
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 自分の学びを振り返り、学びを自覚できるように社会科日記のテーマ設定を工夫する。（自） 学んだことを生かし、社会にかかわろうとする意識を高めるために、新たな問題意識が生まれる場面を設定し、自分なりのかかわり方を考えられるようにする。（学・自）

6 評価の具体的な方法

(1) 「資質・能力」が子どもにいかにか身に付いたか（主に「出会い」「追究」の場面で）

「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」について、指導者評価と自己評価を総合した「社会科日記」の記述の変化（進化・深化）や活動時のつぶやき、ノート記述や学習後の成果物などから、資質・能力の高まりを見取っていく。

【表れた姿と見取る方法】

- 道後温泉本館の変遷の様子や伊佐庭如矢がどのような人物か興味を持ち、学習問題を設定し、自分なりの予想を立てようとしている。【態度】（ノート）
- 自ら資料を集めてきたり、進んで調査やインタビューをしたりしている。【態度】（様態）
- 資料などから必要な情報を読み取ったり、調べたことを年表や新聞にまとめたりすることで、伊佐庭如矢や道後温泉本館、地域の人々の取組などについて理解している。【知・技】（ノート） 等

(2) 子どもが社会とどのようにつながり、参画しようとしているか（主に「振り返り」の場面で）

〈「振り返り」の場面で社会科日記を見取る視点〉

	視 点（子どもと「自分自身」をつなぐ）
「選択・判断」に向かう場面	<ul style="list-style-type: none"> 伊佐庭如矢や道後温泉本館という対象とかかわることに充実感や達成感を感じている。【態度】 伊佐庭如矢の苦心や努力について知り、その価値やよさなどについて自分なりの考えを持ち、表現している。【思・判・表】 伊佐庭如矢の業績や生き方、自分の生活とのかかわりについて理解している。【知・技】
「選択・判断」	<ul style="list-style-type: none"> 伊佐庭如矢の思いを受け継ぐ人々とふれ合い、その活動の大切さや自分とのかかわりについて考え、表現している。【思・判・表】 伊佐庭如矢の苦心や努力の価値や道後温泉本館の魅力、地元で守り、受け継いでいる人々の存在など、学んだことを、誰かに伝えたいという思いを持っている。【態度】 伊佐庭如矢や道後温泉本館を守り、生かそうとしている人々の思いを受け継ぐのは自分たちであることに気付き、自分なりの方法で社会・人に働き掛けようとしている。【知・技】【態度】

〈本小単元における「深い学び」を実現している姿〉

如矢さんは、道後温泉本館の建て替え（4つの大仕事）のために、大変な苦労や困難を乗り越えた。故郷松山の発展を心から願って、未来をも見据えて仕事に取り組んだ。そのような如矢さんの思いや願いは、これまで多くの人たちによって受け継がれてきた。今度は、私たちが受け継いでいく番である。

7 本時の指導 (9 / 12)

- (1) 日時 令和2年1月31日 (金) 10:30~11:15
- (2) 場所 4年花組教室
- (3) ねらい 伊佐庭如矢の思いや願いについて考えることで、先人のこれまでの苦心や努力、思いがあつて現在の発展があること、その思いが受け継がれてきたことに気付く。
- (4) 準備物 写真資料、これまでの提示資料
- (5) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導 (○) と評価 (●)
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の活動の見通しを持つ。</p> <p>2 学習問題について、自分の立場を明らかにし、これまでの学習を生かして話し合う。</p> <p>3 気付いたことや考えたこと、感じたことを記述し学習のまとめをする。</p>	<p>如矢さんや道後温泉本館について調べて分かったことを振り返ろう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>道後温泉本館を調べると、本当にたくさんのお金が掛かったことがよく分かったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>如矢さんは、他にも道後まで鉄道を伸ばしたり、道後公園を整備したりしたんだよね。</p> </div> </div> <p>道後温泉本館の建て替え (4つの大仕事) に、如矢さんはどのような思いや願いを持って取り組んだのだろうか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・100年先まで残るもの、他の地域に真似されないものをつくりたいと強く思ったんじゃないかな。 ・松山・道後にたくさんの観光客が来て欲しいと願っていたんだよ。 ・道後の人たちが温泉で癒されて、にぎわって笑顔があふれるようにしたかったんだね。 ・この先、未来の松山・道後が観光地として楽しい場所になるようにと願っていたんじゃないかな。 </div> <p>道後温泉本館を建て替えた如矢さんの思いは、120年以上経って、叶えられたのだろうか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>叶えられた</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今は、道後温泉を盛り上げるイベントやポスターなどもたくさんあって、昔に比べて観光客も増えているから、結構叶えられていると思うよ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>叶えられていない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>如矢さんは、住んでいる人たちみんなの幸せと町の発展を願っていたのだから、全てがうまくいっているわけではないよ。だからまだまだだよ。</p> </div> </div> </div> <p>ゲストティーチャーのお話を聞こう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・如矢さんの松山・道後への強い思いと行動があつたから、今のにぎわっている町になったんだね。 ・この120年の間に、如矢さんの思いを受け継ごうと頑張ってきた人がいたんだね。今も活動しているね。 ・如矢さんの思いは、「今」叶えられたとも言えるし、まだまだ叶えられていないとも言えるよ。大切なのは、これからなのかもしれないね。 </div> <p>如矢さんは、道後温泉本館の建て替え (4つの大仕事) のために、大変な苦勞をし、いろいろな困難を乗り越えたんだよ。故郷松山の発展を心から願って、未来を見据えて仕事に取り組んだんだね。今もその思いや願いは受け継がれて、叶えられてきているよ。</p> <p>今日の学習を振り返って社会科日記を書こう。</p>	<p>○ これまでの学習を振り返り、伊佐庭如矢の取組や苦心について再確認することで、本時の活動への見通しが持てるようにする。</p> <p>○ 前時までの学習を生かして話し合えるように、これまで提示した写真や資料なども機会に応じて掲示する。</p> <p>○ これまでの学習で分かったこと、気付いたことなどが生かせるように、それぞれの立場をはっきりさせ、根拠を持って発言できるように声を掛ける。</p> <p>○ それぞれの立場の共通点や相違点に気付けるように、キーワード等で分類しながら板書をする。</p> <p>○ 友達のよさを感じ、そのよさを自分の考えに生かしていこうとする気持ちを高めるために、共感的な雰囲気づくりに努める。</p> <p>○ 新聞記事やホームページを提示したり、関係者をゲストティーチャーとして招いたりすることで、伊佐庭如矢の思いを受け継いでいこうとする身近な人々の存在に気付けるようにする。</p> <p>● 伊佐庭如矢のこれまでの苦心や努力、思いがあつて現在の発展があること、その思いが受け継がれてきたことに気付くことができているか。 [ノート、観察]</p>